

主な輸出先国	台湾、シンガポール他（2023年）	輸出実績	30百万円（2023年）
対象となる地域	宮崎県日南市・宮崎市、和歌山県有田郡有田川町、福岡県八女市、佐賀県唐津市、長崎県大村市、熊本県熊本市		

輸出産地の概況

- ・みかん輸出コンソーシアムは宮崎県に位置し、温州みかんの生産に取り組んでおり、残留農薬規制の厳しい台湾をメインに輸出を行っている。熊本、佐賀、福岡、長崎、和歌山県と連携しており、現在26名の生産者が輸出に取り組んでいる。



台湾で販売される様子



シンガポールで販売される様子

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・台湾は残留農薬の規制があるため、輸出が少なく価格的にも有利な販売が可能。検査をクリアするため栽培歴を作り直したり、残留農薬検査を実施している。リーズナブルな価格で取引することで、デイリーで家庭消費のニーズに応えている。

アピールポイント

- ★台湾には直接貿易にて輸出を実施。
- ★2023年シーズンの輸出のロスを1％に抑えることができています。



16パレット分港へ運ばれる様子